

事務事業評価シート

令和 1 年度事後評価・決算

令和 3 年 2 月 22 日時点

事務事業名		コード 23200	園芸生産強化支援事業		予算 科目	会計 一般	款 6	項 1	目 3	事業 種別	☒ 主な事業	
施策 体系	基本施策	1	農水産業の振興		根拠法令	旭市補助金等交付規則					☐ 国土強靱化地域計画	
	施策の展開	1	農畜産物の生産振興		戦略事業	1	園芸生産強化支援事業				☐ 新市建設計画	
	施策の展開				戦略事業						☐ 定住自立圏構想	
											☐ 主要事業	

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☐ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☒ 期間限定複数年度 平成 29 年度～ 令和 2 年度まで		・園芸生産拡大支援事業(H29～H31)⇒耕作放棄地の解消に貢献する担い手農家等に対し、農業機械等の整備を支援する。対象者：生産組織・団体等、認定農業者等 補助率(県単独)：1/3以内(0.2ha以上)、1/2以内(0.5ha以上)、2/3以内(1.0ha以上) ・「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援事業(H30～H32)⇒安定生産や品質向上を図るための生産施設や省力機械、環境モニタリング装置、集出荷施設の整備等を支援する。対象者：認定農業者等 補助率：県1/4以内・市1/20以内(個人利用)、県1/3以内・市1/15以内(個人利用で環境モニタリング装置等)、県1/3以内・市1/15以内(共同利用)	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	
【園芸生産拡大支援事業】同様の内容で平成23年度から実施されている。【「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援事業】「園芸産出額全国1位」を目指して平成18年度から同様の内容の事業が実施されている。		【園芸生産拡大支援事業】耕作放棄地の解消に費用がかかり負担感があるため申請が平成25年度に1件あったのみ。【「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援事業】市の上乗せ補助金を平成23年度(共同利用のみ)から開始し、現在に至る。平成29年度より、園芸施設省エネルギー化推進事業で取り扱ってきた暖房機などの導入についても本事業で扱うようになった。平成30年度より、環境モニタリング装置等の導入に対して支援する園芸施設スマート農業推進型が新たに追加された。	
		⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
		園芸生産拡大支援事業については、特にない。「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援事業は、事業実施者からは、継続を望む意見がある。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算)			単位:千円	
1.負担金補助及び交付金	43,257	生産拡大0円、輝け43,257千円		
② 特定財源の内訳(1年度の決算)			単位:千円	
1.国庫支出金				
2.都道府県支出金	36,051	生産拡大0円、輝け36,051千円		
3.地方債				
4.その他				

事業費	費目内訳	1. 負担金補助及び交付金	千円	45,671	110,734	81,802	43,257	144,974	
			千円						
			千円						
			千円						
			千円						
	財源	事業費計 (A)		千円	45,671	110,734	81,802	43,257	144,974
		1. 国庫支出金	千円						
		2. 都道府県支出金	千円	38,807	92,169	67,785	36,051	124,231	
		3. 地方債	千円						
		4. その他	千円						
5. 一般財源		千円	6,864	18,565	14,017	7,206	20,743		

前年度増減理由	申請者1件あたりの補助金額及び事業量が減少したため
---------	---------------------------

従事職員数	常時	人	最大	人	×	日	=	延べ	人
-------	----	---	----	---	---	---	---	----	---

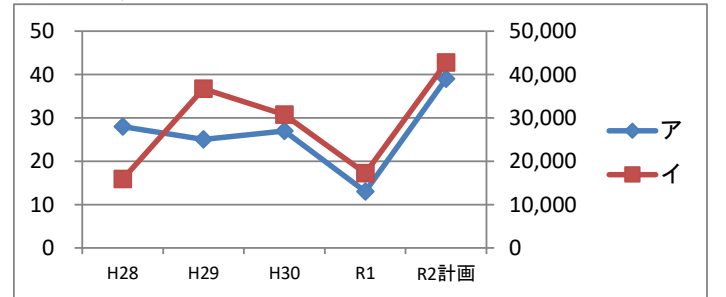
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
	1年度実績(1年度に行った主な活動)	ア 申請件数	件	28	25	34	20	39
目的	事業の周知 事業要望のとりまとめ 補助金の交付	イ 事業PR回数	回	1	1	1	1	1
	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
対象意図	認定農業者、認定新規就農者・農業者が組織する団体(3戸以上)・農業生産法人等 栽培規模が拡大する 生産性が向上する	ア 補助金交付件数	件	28	25	27	13	39
	認定農業者、認定新規就農者・農業者が組織する団体(3戸以上)・農業生産法人等 経営の効率化が図れる 経費が削減する	イ 施設整備面積(事業による規模拡大状況を確認)	m ²	15,857	36,743	30,723	17,197	42,730

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	成果向上余地	評価結果	コスト比率
	かなりある		下位 1/3 中位 1/3 上位 1/3
大きい		①	
普通	②	②	(2)
小さい		③	
		④⑤	
		⑥	
		⑦⑧	
		⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難													
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)														
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	☒ 数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☒ 低下	比較	27年度 28年度	28年度 29年度	29年度 30年度	30年度 1年度	1年度 2計画	
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	事業実施件数が少なかったことに加え、施設整備面積が増加しない機械、装置等の導入の対象者が多かったため。							成果動向	ア	0	△3	2	△14	26
									イ	△10,609	20,886	△6,020	△13,526	25,533	
③ 今年度取組事項 (2年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容			今後の方向性										
	年度内	「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備事業、園芸生産拡大支援事業を実施する。			☐ 拡大 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他()	「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援事業として、平成30年度から令和2年度まで事業を実施する。生産力強化支援型、園芸施設リフォーム支援型、園芸施設スマート農業推進型を補助対象とする。							